



近畿地方整備局 紀南河川国道事務所	配布日時	平成27年8月7日 14時00分
資料配布		

件名	国道42号 <small>なちかつうらしんぐう</small> 那智勝浦新宮道路（ <small>なちかつうら</small> 那智勝浦IC～ <small>いちや</small> 市屋） 9月13日（日）開通します！ ～地域観光の活性化、災害時の復旧支援等に期待～
----	--

概要	<p><small>なちかつうらしんぐう</small> 那智勝浦新宮道路（<small>なちかつうら</small> 那智勝浦IC～<small>いちや</small> 市屋間 延長：6.3km）が、 平成27年9月13日（日）17時に開通します。</p> <p>○開通に先立ち、地元関係者の方々をお招きし、開通式典を 平成27年9月13日（日）14時00分より開催致します。</p> <p>○開通式典の詳細については、後日お知らせします。</p> <p><u>主な整備効果</u></p> <p>■地域観光の活性化により、地域経済の好循環が期待されます。</p> <p>■災害時の復旧支援や国道42号の代替機能、救急活動支援など、「命の道」として期待されます。</p>
----	--

取り扱い	—
------	---

配布場所	大手前記者クラブ、近畿建設記者クラブ 和歌山県政記者クラブ、和歌山県地方新聞記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ、新宮中央記者会、新宮記者クラブ
------	--

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 副 所 長 <small>よしむら</small> 吉村 <small>ひでじ</small> 英二 調査第二課長 <small>おがわ</small> 小川 <small>ひろき</small> 裕樹 TEL 0739-22-4564（代表）
------	---

なちかつらしんぐう
那智勝浦新宮道路
 なちかつら いちや
(那智勝浦IC～市屋)の開通について

【事業概要】

那智勝浦新宮道路は、国道42号の和歌山^{しんぐう}県新宮市から同県東牟婁郡那智勝浦町^{ひがしむろぐんなちかつらちよう}間における交通混雑の緩和及び交通安全の確保等を目的とした自動車専用道路です。

平成20年には、新宮市三輪崎^{しんぐうみわさき}～那智勝浦IC間が開通しており、沿線の新宮市立医療センターへのアクセス性向上等の効果を発揮しているところです。

この度、那智勝浦新宮道路(那智勝浦IC～市屋)^{なちかつらしんぐう}(延長：6.3km)^{なちかつら いちや}が、開通することになりました。

開通に先立ち、地元関係者の方々をお招きし、開通式典を平成27年9月13日(日)14時00分より、開催致します。

開通日時：平成27年9月13日(日)17時00分
 開通区間：那智勝浦IC～市屋
 延長：6.3km



■今回開通区間の現況写真

なちかつら
【①那智勝浦IC付近】



いちや
【②市屋地区】



【路線概要】



地域観光の活性化に寄与！ — 経済の好循環 —

- ◇那智勝浦新宮道路沿線地域は、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」(熊野那智大社、那智の滝 等)を有するなど、和歌山県内でも代表的な観光エリア。
- ◇那智勝浦新宮道路の全線開通で移動時間が短縮し、観光地へのアクセスが向上することで、更なる観光客の増加が見込まれるなど、地域経済の好循環に期待。

●那智勝浦新宮道路沿線の主要観光地



●くじらの博物館



撮影日：平成27年5月

●那智の滝



撮影日：平成27年5月

●熊野那智大社



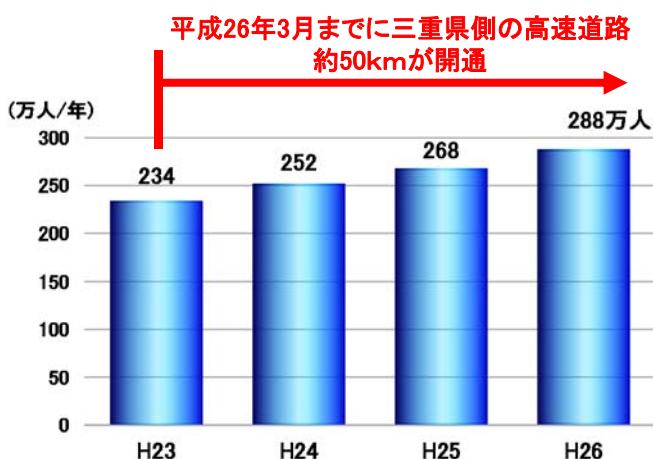
撮影日：平成27年5月

●青岸渡寺



撮影日：平成27年5月

●沿線地域では観光客が増加！



出典：和歌山県商工観光労働部観光局 観光客動態調査報告書
※沿線地域：新宮市、那智勝浦町、太地町

●地域の声【那智勝浦町役場】

「那智勝浦新宮道路開通後は、**新宮市・三重県側からのアクセスが向上**し、観光に訪れるお客様の**移動時間の短縮、滞在時間の増加、交通渋滞の緩和によるストレスの軽減**などが期待される。また、那智勝浦新宮道路が**全線供用した場合**、更なる相乗効果として**広域的な地域からの来訪が見込まれる**。さらに、紀勢線全線が**つながれば**近畿・東海方面のみならず、**全国から来訪者の増加が期待され、観光の活性化につながる。**」
(平成25年9月2日(月))

- ◇那智勝浦新宮道路の整備により、沿線地域唯一の災害拠点病院である新宮市立医療センター（二次救急医療機関）までの搬送時間が大幅に短縮。
- ◇加えて、走行快適性が高まり、患者の身体的な負担が軽減した搬送が可能となるなど地域の救急医療を支援。

●新宮市立医療センターへの搬送時間



出展：H22道路交通センサス
 今回開通区間は規制速度（70km/h）
 により算出



写真：新宮市立医療センター
 撮影日：平成27年5月

●消防関係者の声（これまでの開通による効果）

【太地町消防係】

「救急車内は狭く、病状によっては劣悪な環境になる。那智勝浦新宮道路は線形が良いので、隊員が立った状態で患者を処置することが出来るようになり、救急隊員にとっても大きな効果と言える。」
 （平成20年11月26日（水））

【那智勝浦町消防本部】

「新宮市立医療センターまでは、開通後に国道42号利用から那智勝浦新宮道路利用に変更し、町立温泉病院から医療センターまでの所要時間は約5分短縮された。
 国道42号は、台風や高波の際、非常に走りにくかったが、那智勝浦新宮道路では、安定した走行が可能になり、信号や急カーブ、道路上の飛び出しも無いため、患者への負担が軽減された。」
 （平成20年11月27日（木））

- ◇南海トラフ巨大地震時の津波により、那智勝浦新宮道路と並行する国道42号（延長18.0km）は、約5割（延長8.6km）が浸水する見込み。
- ◇国道42号が浸水すれば、新宮～太地町間の移動には大幅な迂回が必要。
- ◇津波襲来時には、最大津波高よりも高い位置に整備される那智勝浦新宮道路が、救助・支援経路、迂回路として機能し、迅速な救助・復旧活動を支援。

●南海トラフ巨大地震で想定される津波浸水区域



●国道42号が被災した際の迂回路の状況

新宮市→那智勝浦町・太地町間
 現道及び迂回路の所要時間
 【新宮市（橋本交差点）→太地町（森浦交差点）】

	距離	所要時間
国道42号	約21km	約33分
迂回路	約79km	約2時間19分
迂回による増加	約58km	約1時間46分

H22道路交通センサスより計算



写真①
 一般県道南平野下里停車場線（狭い迂回路区間）

撮影日：平成20年7月



資料：「南海トラフの巨大地震」及び「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水想定について（H25.3.28和歌山県）より作成
 最大津波高、津波到達予測時間（津波高5m）は「南海トラフの巨大地震」時の予測結果